

### Information

#### Information 1

#### 講演会のご案内

詳しくは当院ホームページをご覧ください。URL: <http://www.shinkohp.or.jp/>

【お問い合わせ先】

神鋼病院地域医療連携センター 地域医療連携室 担当: 浅田

#### ■ 神戸地区呼吸器疾患地域連携講演会

- 日 時: 2013年11月16日(土) 15時00分~16時30分
- 場 所: 呼吸器センター・管理棟 5階 大会議室(神戸市中央区脇浜町1-4-47)
- 講 演: 『喘息病態の解明に伴う治療戦略~フェノタイプとエンドタイプの考えを踏まえて~』  
座長: 神鋼病院呼吸器センター長 鈴木 雄二郎  
講師: 昭和大学医学部内科学講座 呼吸器・アレルギー内科学部門 教授 相良 博典先生
- その他: 日医生涯教育講座認定 1.5単位

#### ■ オーダーメイド医療研究会 講演会

- 日 時: 2013年11月21日(木) 18時30分~19時30分
- 場 所: 呼吸器センター・管理棟 5階 大会議室(神戸市中央区脇浜町1-4-47)
- 講 演: 『これからの乳房再建~乳腺外科と形成外科が手を組んで~』  
講師: 神鋼病院形成外科 科長 奥村 興
- その他: 日本医師会生涯教育講座 1単位申請しております。

#### ■ 神鋼感染症フォーラム

- 日 時: 2013年11月28日(木) 18時30分~20時00分
- 場 所: 呼吸器センター・管理棟 5階 大会議室(神戸市中央区脇浜町1-4-47)
- 講 演: 『感染制御の重要性~ひとりひとりができること~』  
座長: 神鋼病院感染症科 科長 香川 大樹  
講師: 富山大学感染予防医学講座/感染症科 教授 山本 善裕 先生
- その他: 日本医師会生涯教育認定単位1.5単位申請しております。

#### ■ 東神戸腎疾患を考える会

- 日 時: 2013年12月5日(木) 18時30分~19時40分
- 場 所: 呼吸器センター・管理棟 5階 大会議室(神戸市中央区脇浜町1-4-47)
- 講 演: 『CKDにおける薬物治療~脂質管理を含めて~』  
座長: 神鋼病院 副院長 鈴木 雄二郎  
講師: 明舞中央病院 腎臓内科 医長 城戸 秀典 先生
- その他: 日本医師会生涯教育認定単位1単位申請致しました

#### ■ 神戸難治性疼痛症例検討会特別講演

- 日 時: 2013年12月12日(木) 18時30分~19時30分
- 場 所: 呼吸器センター・管理棟 5階 大会議室(神戸市中央区脇浜町1-4-47)
- 講 演: 『痛みと漢方~抗ストレスを中心に~』  
司会: 神鋼病院整形外科 科長 武富 雅則  
講師: 井上ペインクリニック院長 井上 隆弥 先生
- その他: 日本整形外科学会 専門医資格継続単位1単位、リハビリテーション医資格継続単位1単位  
専門医資格継続単位受講必須分野: 分野1[01]整形外科基礎科学  
分野2[08]神経・筋疾患(末梢神経麻痺を含む)

# 感染症科 ICTのご紹介

神鋼病院  
広報誌

FREE PAPER

まず、1つ目の柱である感染症診療コンサルテーションについて説明します。

当院感染症科は、他科から感染症のコンサルテーションを受けてチーム医療に参加します。感染症で入院された患者さんはもちろん、感染症以外の疾患で

感染症診療  
コンサルテーション

合理的な診療を行うことで  
患者さんが安心して治療に専念



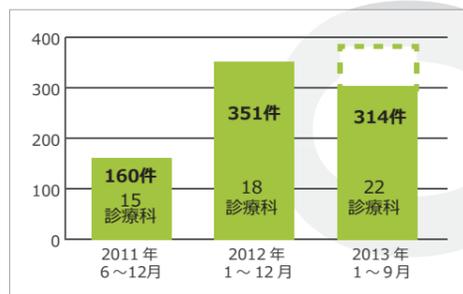
3つの柱を中心とした  
神鋼病院感染症科の取り組み

神鋼病院に感染症科が新設されてから早くも2年半が経過しました。感染症科のある病院は全国的に少なく、同じ「感染症科」という名前でもその役割は病院によって大きく異なります。当院の感染症科は、感染対

策チーム「以下ICT」と極めて密接な関係にあるのが特徴です。そこで今回は神鋼病院の感染症科・ICTの活動についてご紹介いたします。

当院感染症科は、①感染症診療コンサルテーション、②ICT活動、③感染症教育の3つを柱として、「神鋼病院の感染症診療の向上」、「院内感染の予防」、「耐性菌出現の最小化」に取り組み、神鋼病院の提供する医療の質の向上、ひいては地域医療の充実に貢献して参りたいと考えています。

入院された患者さんが感染症に罹患された場合でも、早期に診断し的確に治療するお手伝いをする。とで、主治医や患者さんが安心して入院の契機となった疾患の



■ 3年間の診療実績

治療に専念できるようにサポートしています。外来の患者さん、不明熱の患者さんの診療についてもコンサルテーションを行っています。

エビデンスに基づいた世界標準の知見を個別の症例にうまく適応させた合理的な診療を行うことで、「神鋼病院の感染症診療の向上」に取り組んでいます。



HIROKI KAGAWA

感染症科 科長 香川 大樹

平成13年大阪大学卒業  
日本内科学会認定医

#### ■ 神鋼病院理念

地域医療に貢献し、信頼される病院を目指します。

#### ■ 基本方針

1. 患者さんの立場にたった「あたたかい」医療を提供します。
2. 個人の尊厳と生活の質を重視した医療を実践します。
3. より良い医療を提供するために、常に学・技の研鑽に励みます。
4. 全ての領域における医療安全に最大限の注意を払います。
5. 快適で清潔な医療環境の構築に努力します。

#### 医療法人社団 神鋼会 神鋼病院

〒651-0072 神戸市中央区脇浜町 1-4-47  
TEL: 078-261-6711 (代表)  
FAX: 078-261-6726  
URL: <http://www.shinkohp.or.jp/>  
発行責任者: 病院長 山本 正之  
編集責任者: 神鋼病院広報委員長 山神 和彦

**ICT活動**

**チーム一丸となって院内感染予防を  
目的とした活動を実施**

次に、2つ目の柱であるICT活動についてご説明します。当院のICTは、感染症科医(香川)、感染管理認定看護師(以下CNIC)(谷口)、感染制御認定薬剤師(濱本、三枝、前田)、感染制御認定臨床微生物検査技師(高橋、鈴木、秘書(重村)の計8名で構成されています。



感染予防推進キャンペーンで作成した神鋼病院オリジナルポスター②



感染予防推進キャンペーンで作成した神鋼病院オリジナルポスター①

「院内感染の予防」、「耐性菌出現の最小化」という目的から逆算した活動を一丸となって展開しており、2013年の神鋼病院の年頭式では、われわれICTの活動を高く評価頂き、院長賞を受賞するという光栄に預かることが出来ました。

**感染予防策支援システムと感染予防推進キャンペーン**

「院内感染の予防」を目的とした主な活動として、感染予防策支援システムと感染予防推進キャンペーンがあります。感染予防策支援システムは、耐性菌陽性・結核菌の排菌陽性などの結果を確認した検査技師が速やかにCNICに連絡することから始まります。連絡を受けたCNICは当該病棟に急行し、



2013年神鋼病院院長賞

適切な感染予防策の開始を支援します。その後も毎週定期的なICTが各病棟を巡回し、改善すべき点があればその場で指導することで、適切な感染予防策の継続を支援するというシステムです。このシステムを通じ、接触感染・飛沫感染・空気感染の予防の強化に取り組んでいます。

**耐性菌出現の最小化を目的とした主な活動**

「耐性菌出現の最小化」を目的とした主な活動として、院内採用抗菌薬の見直し、周術期予防的抗菌薬の見直し、特定抗菌薬使用届出制、バンコマイシン「以下VCM」TDM薬物治療モニタリング」支援システムがあります。

①院内採用抗菌薬の見直し  
有効性や副作用が十分検討され世界的に使用されている、(適正に使用した場合)使用頻度が高い、緊急

**耐性菌出現の最小化」を目的とした主な活動**

- 院内採用抗菌薬の見直し
- 周術期予防的抗菌薬の見直し
- 特定抗菌薬使用届出制 (神鋼病院方式)
- バンコマイシンTDM支援システム

**耐性菌出現の最小化を目的とした主な活動**

②周術期予防的抗菌薬の見直し  
周術期予防的抗菌薬の見直しは、抗菌薬が使用される38のクリニカルパスで行いました。これまでの知見やガイドライン等を基に、抗菌薬の選択だけでなく投与のタイミング・投与期間についても当該科の医師に推奨しました。

③特定抗菌薬使用届出制  
特定抗菌薬使用届出制は、多くの病院で採用されているシステムですが、当院の届出制は一

味違います。抗MRSA薬・カルバペネム系抗菌薬は耐性菌感染症の治療薬ですが、逆に耐性菌蔓延の原因にもなるため適正な使用が必要です。したがって、多くの病院はこれらの薬を特定抗菌薬に指定し使用時には届出を義務付けています。ここまでは当院も同じです。しかし、多くの病院ではそれ以上の介入が無く「届出れば終わり」ですが、当院では「届出れば始まり」です。

**耐性菌出現の最小化を目的とした主な活動**

「適切に培養検査が行われているか」、「特定抗菌薬開始に際してカルテに診察所見が適切に記載されているか」、「特定抗菌薬の適応(使用が必要となる根拠)があるか」という3点を精査します。次に、特定抗菌薬の使用が適正であったかどうか評価し、その結果を処方医にフィードバックします。最後に、その結果を月ごとに集計し、医師別に特定抗菌薬の使用状況を定期的に公表しています。

ICTはこのシステムの開始に先立ち、「特定抗菌薬の適正使用とは何か」をまとめ、全医師に公開し、承認を得ました。全員で作ったルールですので守らない訳にはいきません。おかげで特

定抗菌薬に留まらず、抗菌薬全体が適正に使用されるようになってきました。

**感染症教育**

**スタッフが必要とする知識を  
効率良く会得できるようサポート**

最後に、3つ目の柱である感染症教育についてご説明します。当院感染症科・ICTは、医師やコメディカルスタッフを対象とした院内勉強会を活発に行うことで各スタッフが必要とする知識を効率よく会得できるようサポートしています。また、希望する研修医には感染症科1ヵ月研修を行っています。さらに、院外の方にも来て頂けるような講演会も開催していますので、ご参加お待ちしております。

このように、当院の感染症科・ICTは様々なことに取り組んできましたが、「よりよい医療を追求しよう」という情熱あるスタッフに恵まれた風通しの良い神鋼病院でなければ出来なかつ

たことが殆どです。少しでも地域医療の充実に貢献できるように、今後も精進を重ね、全てのスタッフと協力して参ります。ご指導・ご鞭撻の程よろしくお願い致します。



神鋼病院ICTチーム

**開業医探訪**  
Inquires into a doctor

今回の開業医探訪は、かつて酒蔵が立ち並んでいた阪神御影駅の南側にある、坂井瑠実クリニックにお伺いしました。

**坂井瑠実クリニック**



- 神戸市東灘区御影本町2丁目11-10
- TEL: 078-822-8111
- 診療科: 内科・腎臓内科(透析)・泌尿器科
- 休診日: 日曜・祝日
- 診療時間: 9:00~12:00

	月	火	水	木	金	土
内科外来		○			○	○
腎臓専門外来		○			○	○
泌尿器外来	○		○		○	
移植外来		○		○	○	○
透析外来	○	○	○	○	○	○

※土曜日は第3週のみ(予約診)  
※移植外来は午後のみ  
※透析外来は8:50~23:00(2交替)

**診療を開始されてどれくらいになりますか?**

平成10年10月10日に坂井瑠実クリニックが開院し、16年目になります。現在常勤医4名、19床の有床診療所として診療しています。

**どのような患者さんが来院されますか?**

1日70~80名、多くて100名の患者さんが来院されます。阪神間より通われている方が8~9割を占めています。

在宅血液透析の患者さんは約50名の方が通われていますが、赤穂や奈良、和歌山からも来院され、全国で2番目に患者さんが多い施設となっています。

**診療にあたり心掛けていることは何ですか?**

まず、腎臓の悪い患者さんが透析にならないように努めています。そして、患者さんからの訴えや検査データを確認し、透析が必要になっても元気にられるように治療しています。

**ひとこと**

各医療機関との連携をますます重要視し、よりよい病診連携が図れればと考えています。

